

1 月 **1 公衆衛生学Ⅱ** 現代システム科学域
星英之 准教授

公衆衛生学Ⅱでは、疾病予防に関して、前期に学んだ公衆衛生学Ⅰを基礎にさらに詳細な知識について学びます。の中で、喫煙、飲酒、身体活動などの要因と疾病予防に関する詳細な知識、さらに保健・医療・福祉・介護に関する行政面の考え方を身に付けることを目標にしています。(注)昨年度とほぼ同じ内容の講義です。

2 月 **2 中国古典語Ⅱ** 高等教育推進機構
大平桂一 教授

中国の古典を中国語で音読し、味わいます。授業の初期に中国語の発音を音読します。発音は私が作成した教材、中国語未修者も歓迎いたします。読む内容は、詩経、楚辞、漢代の楽府、陶淵明の詩、初唐の詩、盛唐の詩、中唐の詩、晩唐の詩、北宋の詩、南宋の詩、金・元の詩、明の詩、清の詩です。本年度は宋以後の近世の詩も読んでみようと思っています。授業では慣れ親しんだ漢文訓読と現代中国語による直読を併用します。現代中国語による直読は暗唱をより容易にしますし、皆さんを作者の心理により近づけてくれます。どうぞ奮ってご参加ください。

3 月 **3 西洋文化史** 現代システム科学域
中村治 教授

リン・ホワイト・Jrの「現在の生態学的危機の歴史的根源」などを読むことにより、キリスト教と環境問題の間にどのような関係があると指摘されているのかを見つうえて、その指摘が妥当かどうかを、「創世記」に関するアウグスティヌスやトマス・アキナスの解釈、ニコル・オレーム、フランシス・ベーコン、デカルトなどの思想を検討するとともに、『中世の産業革命』、『人間と自然界』などの研究書を読むことによって考察し、人間と動物の関係、キリスト教と環境問題の関係について考えます。

4 月 **4 ソーシャルワーク概論** 地域保健学域(教育福祉学類)
東優子 教授

社会福祉援助技術の入門科目として位置づけられる本講義では、地域でさまざまな相談援助活動に取り組むゲストスピーカーによるリレートークに耳を傾け、以下についての理解を深めることを目的とします。①社会福祉士の役割(総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発含む)と意義について、②精神保健福祉士の役割と意義について、③相談援助の概念と範囲について、④相談援助の理念について、⑤相談援助における権利擁護の意義と範囲について、⑥相談援助に係る専門職の概念と範囲及び専門職倫理について、⑦総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義と内容について。また、他者・相談援助に取り組む基本として、学生が自分自身(および価値観)と向き合うことを目的とするため、基本は講義形式ですが、部分的にグループ・ディスカッションを実施します。

4 月 **5 中国の思想** 高等教育推進機構
大形徹 教授

長い歴史をもつ中国では数多くの思想が生みだされ、日本人にも大きな影響を与えています。孔子や孟子の儒家、老子や荘子の道家、墨子の墨家、韓非子の法家などの思想はとも興味深いものです。同時に中国の人々が知らず知らずのうちに形成していった、いわば中国人全体の思想ともいえる死生観や魂魄概念(魂魄はどこにあるのか、魂の語源、肉体をぬけだす魂と髪型との関係、坐忘、体内に入りこむ悪霊、侵入する鬼霊、疾病観と魂、悪霊をはらう方法)などについても考察します。これらもまた日本人の生活や考え方に大きな影響を与えているのです。

4 月 **6 ゼミナール 言語と文学(原文で楽しむフランス文学)** 高等教育推進機構
村田京子 教授

映画やアニメの原作としても有名なヴィクトル・ユゴーの『ノートル=ダム・ド・パリ』を取り上げます。原文はかなり難しく、長文なので、それを簡略化して読みやすいフランス語テキストに直した教科書を使います。文法事項を復習しながら、文豪の小説をじっくり味わってみたいと思います。教科書:クリスチャン・ボームル編著『ノートル=ダム・ド・パリ』朝日出版社
なお、受講はフランス語初級を履修した(または初級程度の学力を有する)方に限ります。

4 木 **7 ケアリング論** 地域保健学域(教育福祉学類)
児島亜紀子 教授

対人援助の中核であるケアリング概念とその実践の諸相を講じます。具体的には、以下のような内容を取りあげます。
①ケアリングが他者に対するケア(世話、心づかい)の実践であることを、具体例をあげながら説明していきます。
②ケアリングがニーズへの応答や他者への責任、傾聴や許容、ジェンダーといった概念といかに深く結びついているかを講じます。
③ケアに関するさまざまな基礎理論や今日の新たな問題点を取り上げ、人間の普遍的な経験であるケアについて、受講生と一緒に考察を深めていきます。

1 金 **8 教育社会学** 地域保健学域(教育福祉学類)
西田芳正 教授

社会の新しいメンバーに必要とされる資質を身につけさせる営みと、その組織的な働きかけである学校教育の姿、それらを経験しつつ大人への途をたどる子ども・若者の姿は、社会の変化とともに大きく変動し、さまざまな問題状況を生み出しています。
授業の前半では、社会化についての基本事項を確認し、学校が登場する以前の伝統社会における社会化(子育て)の仕組みとその特徴を整理します。その知見を参照枠としつつ、現代社会における家族・地域社会における子どもの成長とその問題性を検討し、授業後半では学校教育に視点を移します。その際、近年注目を集めつつある格差・貧困・社会的排除と学校教育の関連に焦点を当て、不利な環境のなかで生育する子ども・若者が経験する学校における排除のメカニズムを検討します。併せて、排除に抗する学校・教師の事例を紹介し、排除型社会としての性格を強めつつある今日の日本において求められる学校教育の在り方について考えていきます。

1 金 **9 人間環境科学入門Ⅰ(心理学概論Ⅰ)** 現代システム科学域
牧岡省吾 教授

人の行動や行動の背後にある心のはたらきについて概説します。発達、学習、記憶、視覚、聴覚、思考、推論、言語など、心の様々な側面に焦点を当て、これまでに解明された様々な知見を紹介し、心の基本的な仕組みについて理解していきます。学問分野としては主として心理学を扱いますが、必要に応じて動物行動学、分子生物学、神経科学、言語学など、他の分野の知見も取り入れながら解説します。受講にあたって心理学に関する予備知識はとくに必要ありません。授業中に簡単な実験を行う場合もあります。
【教科書】鹿取廣人・杉本敏夫・鳥居修晃(編)心理学[第5版] 東京大学出版会

2 金 **10 特別支援教育** 地域保健学域(教育福祉学類)
木曾陽子 准教授

本講義では、特別支援教育の理念や現在の教育体制を理解し、障害特性の理解を深め、ユニバーサルデザインによる教育を考えることを目的としています。特別支援教育は、特殊な場所で特別な児童生徒のみを対象に行われるものではなく、すべての教育現場ですべての特別なニーズをもつ子どもに行われるものとされています。本講義では、受講生間で意見交換を行ったり、受講生にプレゼンを行ってもらったり、現場の教員等の声を聞く機会を確保したりすることで、特別支援教育について共に考えていきたいと思っています。


2 金 **11 陸域環境生態学** 現代システム科学域
中山祐一郎 准教授

人間の生存にとって不可欠な生態系サービスの理解、健全な生態系の維持と生物多様性の保全を実現するために必要な科学的知識の習得ならびに価値観の養成を目標にしています。生物の生活と環境との関係が理解できるように、生態系の構造と機能、生物の環境形成作用、生物種の環境に対する適応、個体群動態と種間の相互作用、生物群集の構造と多種共存機構について講義します。さらに、生物多様性とその意義、絶滅の要因とプロセスについて説明します。

3 金 **12 憲法Ⅱ** 現代システム科学域
水鳥能伸 教授

日本国憲法の人権保障の理解の出発点は、「個人の尊厳と尊重」の原理です。この原理は、個人の決定を優先する考え方でもあります。この考え方を婚姻関係において適用した場合、婚姻はどのように理解されることになるのでしょうか？今回は、「同性婚」の問題を、最近話題の性的マイノリティー(LGBTはその代表)に関連づけ、合わせて諸外国の憲法や法律での取扱とも比較し、考えていきます。



 **授業時間**

1コマ	9:00~10:30	4コマ	14:35~16:05
2コマ	10:40~12:10	5コマ	16:15~17:45
3コマ	12:55~14:25		